

ジブン・アップデートVol.3

田中 :

どうもこんにちは田中です。

それでは『ジブン・アップデート』対談シリーズ3本目ということで、前回2回目の対談動画の中では、アップデートをかけていく上でのポイントですよ、3つのポイントとか、

本当に大事な話を聞かせて頂いたんですけど、今回第3回目の動画では、アップデートをかけていく要素って色々あると思うんですよ。

人間関係であったり、経済面であったり、あとはインプットの仕方とか、僕らが人間生活を営んでいく上で色々なことがあると思うんですけど、

その中でもやっぱり、ここをちゃんとアップデートさせておけば、他のことにも凄く良い関わり方というか、良い影響があるっていうのは、やはり経済面だと思うんですね。

そこを悩める人もね、かなり多いんですよ実際問題。そこが不透明でちょっと不安みたいな。

そういう人に向けて経済状況、自分の持っているお金、資産、そういったものにアップデートをかけていく上で大事な事っていうのを聞かせて頂きたいんですけども、よろしいでしょうか。

Mr.G :

はい。まず確認になりますけど、アップデートっていうのは知識ではなく概念の受け入れなんです。概念は受け入れて、それで終わりじゃ当然ないわけですよ。

だから概念を受け入れて、自分のベースになるコンピューターの部分をアップデートした後は、日々のさらにインプットとか日常のスキルとかは、それはそれで必要なんですよ。

だから今これを聞いている方に誤解して欲しくないんですけど、スキルとか知識とかを否定しているわけじゃなくて、そのスキルとかライフハックとか、そういったものを乗せる土台を上げましょうということなんです。

上がった土台に乗せるのか、今の低い土台に乗せるのか、同じ情報をインプットしても辿り着く場所が違おうと。ここが大事なんですよね。

じゃあ今の自分のアップデートをどこまでしておけばいいのか、どういうアップデートをしたらいいのか、というのが重要になってくるわけですね。

特に経済とかそういう事に関しては、まず何のためにお金が必要なのかというと、生きていく為ですよね。

生きていく為というと、生きる時間が長くなったわけです。これまでは40年間働けば、なんとか最後の余生20年は逃げ切れたわけですね。

ところが今はそれが80までになった。80歳まで現役で働いて稼ぐ力がないといけない。

そうすると、今の会社に言われる仕事をただやっていたらいいという時代でもないし、いま例えば30,40歳の人、もう1回、2回大きな転換が来るんですよね。

いま50,60の人は、逃げ切れると思ってるかもしれないですけど、意外と逃げ切れないんですよね。

だって定年退職が60,70で、年金もらえるのが75,80になったら、10年くらい空白が空くじゃないですか。

会社を退職した後に、10年間自分の力で食っていく時間が絶対発生してしまうわけです。

田中：

これね、あれなんですよ。僕セミナーとか講座をやっているから、結構メルマガを読んでくださってる方と会う機会があったりとか、他のやってる事業というかプロジェクトで、色々な人に会うんですよ。特に今年。

話を聞いてマジ思うのが、僕の年代、30代40代ぐらい、僕いま38なんですけど、結構危機感を現実のものとして考えている人っていうのは、割合として多い気がするんです。

まあそうですね。勉強しに来てるくらいだから、なんかスキルアップとか、現実を変えようと思っている人が多いから、

実際、このままだったら良くないかもしれないという危機感がある人が多いんですけど、50代を超えている人たちっていうのは、何て言うんだろう。

さっきガッキーも言ってたけど、このまま時代は変わったとしても、AIとかテクノロジーというのがどんどん入ってきて、おそらく時代は変わっていくだろうけど、

俺らの時ぐらいまでは、前の時代のルールで逃げ切れるっていう思いを持ってる人が、マジほとんどです。

Mr.G :

多いですね。

田中 :

めちゃくちゃ多い。

たまに例えば次の時代のことを考えてるとか、若者のことを考えてる人で意識が高い人もいらっしゃるんですけど、自分の人生は、まだギリ逃げ切れるって人が結構本当に多いんですけど、それ多分違うんですね。

Mr.G :

違いますね。

田中 :

おそらく違うんですね。徐々に徐々にじゃなくて、どんどん新しいのが入ってきて、今までの当たり前というのが、いきなりガツンと変えられる様なインパクトが普通に入ってきてもおかしくない感じになっているから、

これって、「ああ、若者にだけ必要な話をこの若者たちがしている」じゃないんですね。ガッキーですら若者って思う人いるからね。

じゃなくて、まさに今この動画にアクセスしてくれている人全員に必要な概念なんですね。このアップデートもそうだし、今日これからしてもらおう話っていうのはね。

そこの危機感というか、自分のものとして聞く。これって第2回目の動画の中でも話してもらったけど、関係ないと思ったら全然行動が変わらないじゃないですか。

正に自分に必要だと思うそのスタンスは大事。プラス第一個目のポイントの「受け入れる」というのは大事ですよ。じゃないと意味がないですねこの時間すらね。

Mr.G :

そうなんです。じゃあ時代が変わるっていうのは、何が変わるかっていうと、背景が変わることもそうなんですけど、自分自身が変わるんですよ。

肉体的な老化だったり、精神的な老化だったり、若い頃できたことが、もう30代でもできなくなってることってあるじゃないですか。

田中 :

悲しいかなあるよね。

Mr.G :

でも40になったら、もっとできなくなるんですよ。それを言うと50代の人に「いやまだまだ。50になったらそんなもんじゃねーぞ」と言われるんですよ。

田中 :

言ってくるよね。得意気にね（笑）。

Mr.G :

得意気にね（笑）。

田中 :

寂しい話をね。

Mr.G :

ところが60の人に言わせればもっとだし、70の人なんか逆に尊敬するくらい一生懸命生きてるといふか、あれもこれもそれも、言ったら全て枷をかけられている様なものなのに、日々を生きているわけですよ。

でもそんな自分らの親みたいな70代の人歳まで、我々はまだ働かないといけない。

もちろん、健康寿命が伸びているからってということもあるけど、その時代でまだ現役でないといけないって思ったら、右肩下がりじゃ絶対ダメなんですよ。

田中：

そうだね。

Mr.G：

ひたすら右肩上がりしないといけない。

右肩上がりになっていくってことを考えたときに、例えば経済において、さっき言った長い人生を生きていく為に必要なものってなったときに、

これまでは「有形資産」と言われるお金を貯める、株式を貯めるみたいな形で、蓄えるっていう発想が強かったと思うんですよ。

田中：

そうだね。

Mr.G：

もちろん、これからもそれは大事です。

ただ今のように、それで利子もつかない、増えていかないって風に考えると、もうそれだけだと無理なんですよ。

これまで貯蓄が大事だよって風に言われてたのはなぜかというと、40年間働いて貯めたお金、それも3種類くらいのインカムがあるんですよ。

働いて稼ぐお金、退職でもらえるお金、そして国に払った年金的なもの。

これが最後の余生の20年に全部残るから、最後の20年をその3つのインカムで生き延びれるというか、逃げ切れるという発想だったんですね。

ところがそれがグイッと伸びると、もう今みたいに退職金も期待できない、右肩上がりに給与も期待できない、年金すら期待できないってなったら、これまで保証されていた余生を生きる為の担保というのがもうない状態なんですよ。だから貯め込む。

今すでにしっかり稼いで、しっかり貯め込んでいる人は、それはそれで結構まだマシなんですけど、貯め込んだところで、もう逃げきれないくらい自分が生きちゃうんですよ。

だから新しいものがあるんです。それが何かというと、
これまでの「有形資産」に対しての「無形資産」というのが今後は重要になるんです。

田中：

無形資産。

Mr.G：

無形資産というのは、具体的には人間関係、これは家族、恋人友人、後は社会的なもの、
ビジネスとかそういう人脈とかですね。

他にはスキル、自分自身の能力、結局この辺が大事になってくるんですよ。

例えると分かりやすいんですけど、お米を自分の将来の為に一生懸命買い集めて、一生懸命
蔵にため込むという行為と、いま一生懸命その米を食いながらでも頑張っ、て、広大な畑を作
るのと、どちらの方が長い人生を生きていく上で安心ですかという話なんですよ。

今までの時代は、そんなに余生がなかったから、米をため込む形でよかったんですよ。
これ食い切る前に死ぬって話だったんですよ。

ある意味そういう人生ってつまらないというか、このお金がなくなる前に早く死ななきゃい
けないみたいな。

生きているうちはずっと目減りし続けるので、凄く不安なんですよ。

「俺長生きしたらお金がなくなるんじゃないか？」みたいな。そんな人生嫌じゃないですか。

田中：

そうだね。

Mr.G：

でも畑があれば、そこが自分の生活を保障してくれるし、そこに若い人を雇い入れれば、右
肩上がりにだってなるわけですよ。すごく安心がありますよね。

この畑を作ることが、言うなれば無形資産としての人脈を持つ、自分自身のスキルを
上げる、例えばお金を稼ぐ力を自ら持つ。

会社に言われたことをして、時間と労力を切り売りしてお金を貰うんじゃなくて、自分がゼロベースから、何か少しでもお金を稼ぐ力を持っている、こういうことが大事なんですよ。

こういった無形資産が、これからの時代には一番重要な経済的なポイントになってきます。

田中：

なるほど。その無形資産を作っていくっていう行動が、大事になってくるということですか？

Mr.G：

そうです。

田中：

スキルをつけるとか、そういう人脈というか人間関係を作っていくとか、お金を生むようなものを作るっていうことが、今までだったらお金を貯める、不動産を買う、株式を保有するってということよりも大事になってくると。

Mr.G：

そうですね。つまりこれまでを否定しているわけじゃないんですけど、これまでだけでは足りなくなっていくということなんですね。

田中：

なるほど。寿命が長くなってきているし、ルールも変わっていくし。

Mr.G：

そうそう。確実性が失せている。

例えばですけど、今のように入人口が減り続けている時代に、アパート経営をこれからしたら、今からの20年後とか40年後にアパート経営で飯食えるかという、厳しくなる一方じゃないですか。

田中：

そうなんだよね。その当たり前の足し算引き算で分かることすら、昔はそれが確実だったという昔のルール、昔のバージョンのまま、今にインストールしてアップデートせずにやってみる人って多いですよ。

特にこれは年配の人に多い。いや大丈夫ですと。いま不動産、特に日本なんか明らかに人口が減っていくこと分かっているのに、これだけ持っているから全然大丈夫ですとか。

それ大丈夫ですかってことを週に一回くらい話すことが多いんですけど、それ多いよね。そっちじゃないと。大事だけど。

Mr.G :

例えば今30歳の人って、30年後は60歳だからまだ全然現役ですよ。

でも30年って結構な時間の流れで、例えば今から30年前ってパソコンが一般的には普及もしてなくて、そろばんと電卓で、経理とか会計をしていた時代ですよ。

企画書とかは、みんな紙に書いて送る時代、30年前はそんな時代ですよ。

田中 :

確かに。ヤバいね。

Mr.G :

つまりエクセルどころか、そろばんや電卓でやっていた時代が、たった30年で、エクセルでマクロでみたいなの、それもクラウドでとか、そういう時代になって、それが今後はAIが自動処理してくれそうとかいう時代になるわけですよ。

それくらいの大きな差、スマホだってまだここ10年のものじゃないですか。

田中 :

本当にそうですね。

Mr.G :

でも10年で行き尽くした感がありますよね。たぶんもう10年もしたら、スマホとか使っていたら時代遅れ感が出ますよね。

田中 :

確かに。スマホがどんどん便利になるというのは線上の考え方で、そうじゃなくてスマホみたいな全然違う概念がまた来るみたいな。

昔そろばんで当たり前に経理やってたり計算していた人は、こんなになるって絶対思ってないもんね。

Mr.G :

そうです。

田中 :

だから、必死にそろばん何級とか、そろばんをどれだけ…これ若いやつ分かんないと思うんだよね。マジであったのかみたいなの。資格以外で。

あったからね。あんまこういう話するとオッサンみたいでしたくないんだけど、ありましたもんね。

Mr.G :

そうそう。

田中 :

だって学校の授業でさ、ランドセルの横にそろばん挿していたもんね。

Mr.G :

挿してた挿してた（笑）。

田中 :

いたもんね。そうだよ。こんだけ変わるからね。というのも普通にあると。

Mr.G :

それぐらい、今みんなが想像できないぐらいに、今聞くと「そんな滑稽な」って思うレベルの変化が、今後間違いなく来るんですよ。

そうなったときに、今何を持っているとか、今の延長線上で、今これが稼げるからとかいうのすら本当は意味がないんですよ。

だから例えば、01（ゼロイチ）でお金を稼ぐ稼ぐないって話をしましたけど、今ビジネスで何か自分で立ち上げて、お金を月々100万円稼いでます。

これは凄いことだけど、凄いのはこれじゃないんですよ。これはいつか稼げなくなるかもしれないじゃないですか。

田中：

ずっとあるかどうか分からないからね。時代の動き的に。

Mr.G：

ただそれを例えば人からもらって、ただ引き継いでやって100万なのか、全く何もない場所から、人のニーズとかそういったものを自分で考えて汲み取って立ち上げたのか、

たとえそれが100万じゃなくて10万でもいい、そういうものを自分で作り出せたのか。その意味合いなんですよ。

それが作り出せる人であれば、今から30年後、60とか70になっても、何かその時代の困ったことを見つけ出して、自分で作れるんですね。

そしたら苦労しないというか、食っていけるわけですよ。

田中：

まさにそうですよね。結構この時代の変化、これからしていくであろう時代の変化をポジティブに受け取っている人、かなり悲観的に受け取っている人の差って本当にそこで、

まずアップデートが当たり前だっという前提にある人は、そこまで悲観しないというか、ワクワクしますよね。だってどんどん未来に近づくみたいな。

プラス01で、自分で何かを作っていくことができる、例えば経済で言ったらお金、お金を生む仕組みというのをその都度その都度時代に合わせて、作っていくことができるのであれば怖くないじゃないですか。

というより、より便利になっていくというか、より楽しくなっていく、その時代に合わせてやっていくから。

それ分かれるよね。今お金めっちゃめっちゃ持っていても、そのお金が入ってくる仕組みというのは、昔で言うお米を貯めているみたいな感覚で、だったらそれは怖いよね。

Mr.G :

そうそう。

田中 :

どうなるか分からないし、あまりにも不明確なことが多いし、どんな新しいテクノロジーが入ってくるかわからないから、それはそうですよね。

Mr.G :

そうなんです。だから例えば、昔の日本は年貢を米で納めていたりして「米 = お金」だったじゃないですか。

だからといって皆が米を作ったせいで、米余りとかが起きて値段が暴落して、もう田んぼ潰せみたいな話になりましたよね。

田中 :

なったね。

Mr.G :

お金も時代によって価値って変わるものですよ。だから例えば今の100万円は、多分10年後は100万の価値を持ってないんですよ。

田中 :

それ皆ちょっと抜け落ちてると思いませんか？

だってよくよく考えれば本当に役に立たないと思うんですけど、学校の授業の歴史の教科書で、何年に何があった、いい国つくろう鎌倉幕府とか覚えても意味ねえからと思うんだけど、

それに書いてある教科書ですら、昔のいくらは今どのくらいって全然違う。

だからお金の価値っていうのが、落ちていることくらいめっちゃ分かるんですよ。

例えば、じいさんばあさん達と話すと、昔の初任給が1万円だったんだよとか。初任給1万円っていう時代が、結構近い過去にあったわけでしょ。

Mr.G :

そうそう。

田中：

その1万円で生活ができて、それが多いうって時代があって、今みんな1万円って言った
ら、バイトでマクドナルドやスタバで、1日で、あるいは2日とか3日とかで稼ぐ金額がそう
だったわけでしょ。

それなのにみんな100万円、200万円でもいいけど、それを米を昔貯めるかのようにずっと
後生大事に貯めて、ストックすれば大丈夫と。将来の安心だって、なわけないですよ。

減っていくんですよ。悲しいかな。

そりゃそうなんですよ。という理を無視したことをやるのが、前時代的というか、それは
違うよね。

そこはアップデートかけないと、さすがに。

日本だけですよ。ここまでそれに疎いというか、そういう風にもしかしたら情報操作され
ているのかもしれないけど、それは危機感を覚えないといけないところかもしれないですね。

「貯金命」はちょっとやばいですよ。

Mr.G：

しないよりかはした方がいいけど。

田中：

もちろん。何かあったときとかね。

Mr.G：

でもそれは、その貯め込みがあれば絶対大丈夫っていうものじゃないんですよ。困った時に
ちょっと助かるぐらいのものなんですよ。

田中：

そうだね。

Mr.G：

立て直すことができるぐらいのものなんですよ。

でも立て直すっていうのは、そのお金を食い潰しながら次の収入源を見つけるっていうことですよ。

じゃあそれを自分で作れるか作れないかというのは非常に重要なので、必要なのは自分の稼ぐ力みたいなものなんですよ。

田中 :

いやいや、本当にそう。

Mr.G :

その為に必要なものというのが、さっき言った無形資産みたいなもの。今やっぱりスキルも大事だけど、一人じゃ稼げないんですよ。

情報も入ってこないし、例えばその人が、これをする為にはこうしないといけないって学んでいて、すごい頑張ることで、

他の人にとってみれば凄い簡単だったり、凄い安くできるサービスがあったりするじゃないですか。

田中 :

あるね。

Mr.G :

じゃあ一人ぼっちで頑張ったらすごい無駄だけど、他の人と一緒にやったら、意外と簡単に出来たりっていうことも多いんですよ。

田中 :

なるほど。

Mr.G :

これも資産。

田中 :

完全に資産ですね。だってそこに自分一人でやろうと思ったら失ったかもしれない時間だったり、労力、コストの部分、お金もそうだしっていうのが、

その人脈というか、その人とのコネクションがあるからそれをいけるわけですね。
資産ですよ完全に。無形のね。

Mr.G :

だからよくお金の価値が変わるとか、将来お金が必要なくなるとか、色んなこと言う人いますけど、そういう信頼関係というのが「お金のような価値を持つ」意味だと思っんですよ。

だからお金がいらないとかいう話ではなくて、そういった信頼関係がお金を生む、そこに貯金ができているとか、そこに不労所得的な財産を持っているということになるわけですよ。

田中 :

なるほど。何かね、最近それがよく、今の時代がどんどんそういう風が変わってきているし、AI が職業を奪って、僕ら人間が嫌々やっていたようなこと、誰でもできるなようなことは、テクノロジーが代わりをするようになって、

実際にレジとかでもよくあるじゃん。外資はね。IKEA とか。さっきオフレコのところでIKEAの話をしていたんだけど、やはりどんどんレジとか人がいなくなるっていうのから、僕らが分かりやすいところでは言ったら、どんどんできて色々あると。

それが進んでいったら、最近話題に出る「ベーシックインカム」の話だったりするじゃないですか。

お金っていうものが価値じゃなくて、生き様だったり、好きなことだったり、そういうものの価値の方が勝っていくよっていうことを何て言うんでしょう。

本当に鬼の首を取ったかのように言う人もいて、そしてそれを本当にその通りだって言う人もいるけど、

そんなことは、昔からそうなんですよ。

昔からお金が1番じゃないし、全部違うんですよ。生き様だったり好きなことをどれだけ体現できるかというのが、人生だったんだけど、

それが上っ面だけ捉えると、じゃあお金を稼いでいくとか、お金を持っていることというのが、必要じゃないんだって、

好きなことだけやれば、もう全部テクノロジーがやってくれるんだって、思っている人本当に多いんですよ。

ベーシックインカムが導入されて、いま実験とかされているじゃないですか。それでどうなるかみたいなの。国からどんどんお金がもらえるようになるみたいな。

それ短絡的に、表層だけ捉えて、それがハッピーだと思えば、えらい格差つくんですよ。

というのはお金という形になって、キャッシュという形じゃなくて、さっきガッキーが言った様に無形のもの、

繋がりがったり、環境だったり、あるいはゼロからイチを作れるようなスキルだったりって、差がつくじゃないですか。

キャッシュが何枚あるとかいう問題じゃなくなるだけで、それも大事なんだけどね。

大事だし、またこれ一つ大事なポイントと思うのが、もちろん時代ってのはどんどんそういう風になっていって、いずれキャッシュという概念じゃないものになっていく可能性はあるわけじゃないですか。

だけどそれってどんどん時代というのが変わっていって、いきなりポンと変わるかもしれないけど、

悲しいかな。

まあハッピーかもしれないけど、僕らが生きている、メインで活動する時代に、現金というものがなくなる可能性はまあ低すぎると思うんですよ。

それってどう思います？

Mr.G :

低いですね。

田中 :

低いですよ。まあそういう風になっていくんだけど、例えばお金を稼ぐ力があるとか、

無形の資産を持っているっていうことが、あとはお金や不動産を持ってるっていうことが、意味がないものにはそんなにすぐ、例えば5年後、あるいは10年後にそうなるかといったら、そうはならないじゃないですか。

持ってない人ほど、そのスキルがない人ほど、希望的に言うんですよね。それが危なすぎて。

Mr.G :

そうなんですよね。つまり今持ってないから、新しい要素が入ったらリセットされて、自分にもワンチャンスあるんじゃないかっていう希望が入っているんですよね。

でも例えば、今現金っていうものじゃないものに移り変わったとする、例えば電子マネー的なクレジットとかそういったものに確かに置き換わっていますよね。

そうなったところでどうなるかという、

今我々が「現金」と言っているものが、「クレジット」という風になるだけで、社会の仕組みもお金持ちがクレジット持ちになるだけなんですよね。

田中 :

いや本当にそう。信用持ち、価値持ち、人脈持ちっていうのを本当に考えた方が良くて、

その一つのみみんなが分かりやすい形が、等価交換しやすい形が、キャッシュだっただけで、変わらないんだよ本質は。だってそれはそうだよ。

だからそれを自分の価値だったり、信用だったり、というのをゼロから作る力というのが、まず超大事だと。

それをやっていく、あとはアップデートして行って、時代に合わせたりとか、状況に合わせて、自分をどんどん書き換えていくっていうのは、両方ないと生きづらい時代。

逆の言い方をしたら、それがあったら、かなり生きやすい時代なんですよね。

だってテクノロジーどんどん来て、10年前にさ、僕起業したのって10年前なんですけど、法人化とかね。あの頃に、今僕らが当たり前に使っているツールとかサービスがあったら、どれだけ楽だったかって思うくらい10年変わってるじゃないですか。

今ですら全然違うじゃないですか。

10年前は、また言われてたわけですよ。起業家の先輩とかから「今の時代っていいよな」みたいな。ホームページが簡単に作れる、こんなに自分で作れるようになるみたいな。

今ホームページを一から全部学んで、HTMLとかを学んで、ホームページビルダーとかでやる、ヤバいじゃないですか。

その選択をする起業家がいたとしたらそれ結構ヤバいと思うけど。

Mr.G :

ヤバいですね。

田中 :

変わるじゃないですか。というのがどんどん起こっていくからね。

Mr.G :

そうそう。そうなんですよ。

だから表層だけで聞いている人っていうのは、そうやって例えばホームページの作り方を覚えなくてよくなると、そういう風に技術が進歩すると、しなくてよくなることが増える。

だから将来、自分が何もしなくてよくなるみたいな間違っただ論法で進んでいるんですよ。

でもそこが効率化されたら、じゃあどうなるかという風に自分の頭で考えてみれば、結局ライバルが増える、競争が激化する、よりクオリティの高いものしか生き残れなくなるという風になって、便利になればなるほど厳しくなるんですよ。

いまパソコンとかが入って、仕事がどんどんこれ一つで片付きますという時代に、サラリーマンの労働時間って、伸び続けてるじゃないですか。

あれって結局、やらないといけない仕事が増えたんですよ。

昔は、そもそもそこまで一人でできないっていうのが前提だったわけです。だから残業もなかったんですよ。

でも今は、これもできるでしょ、あれもできるでしょというのが前提になったから、求められちゃうんですよね。それで結構差が開いているわけです。

それは間違いなく今後もあるんですよね。そうなっていくということを考えたときに、じゃあ今の自分でいいんですかという話になる。

田中 :

なるほど。

Mr.G :

だから将来に不安を持つ。将来大丈夫なんだろうかと、何かした方がいいんだらうなって思う、ちょっと危機感を持つことは大事だけど、

ここをグダグダ悩むというのは、結局前回もお話した「自分にどうしようもできない意味のない思考」をしているということなんですよ。

人間が考えるべきは、自分が手を伸ばして、何かいじれるところだけでいいんですよ。

ってなったときに、未来が不安っていう存在しない、いじれないところを言うんじゃないで、その未来のために自分が今何ができるか、何をすべきか、ここだけを考えて、ここだけを実践する。これでいいんですよ。

田中 :

なるほど。自分が手をかけられる、コントロールできる「そこ」っていうのが、この一連の話で言ったら、アップデートをさせていくっていうこと、0から1を作る力っていうことなんですけど、

そのアップデートと言ったら、受け入れるということ、行動していくとか、そういうことですよ、それをちゃんとやっていく。そこしか変えられないから。

うだうだ考えて、大丈夫かなとか、不安だなとかじゃなくて、それを思うのであれば、どうしたいのかを決めて明らかにして、それをやっていきたいと思いますということですよ。

Mr.G :

そうです。

田中：

それが結局、今回第3回のメインテーマである経済の部分でも当たり前のようにそうだと。

特に経済の部分で言ったら、有形のものじゃなくってお金、不動産、株式とかそういった資産、金（ゴールド）とかね。

そういったものじゃなくって、今後はより無形資産をどれだけ持っているかというのにウェイトが移っていくと。人脈だったりスキルだったり、生み出す力だったりみたいなもの。

そういうものだから、概念としてそれを受け入れて、そっちを変えていく為に、今の現実がハッピーって思うならそれでいいんだけど、不安があるなら、そっちを変えていくというアクションを取ろうぜってことですよね。

Mr.G：

そうですね。

田中：

なるほど。凄い勉強になりました。そしたら今回も長くなってきたので、次の動画で最後になると思うんですけど、このアップデートをかけていく、0から1を作っていく。

じゃあ具体的にそれをやっていく為の答えというか、まあMr.Gがここに来ていただいて、いよいよそれかっていう人もいるかもしれないんだけど（笑）、それに関して話を聞かせてください。

じゃあ今回もありがとうございました。

Mr.G：

ありがとうございました。